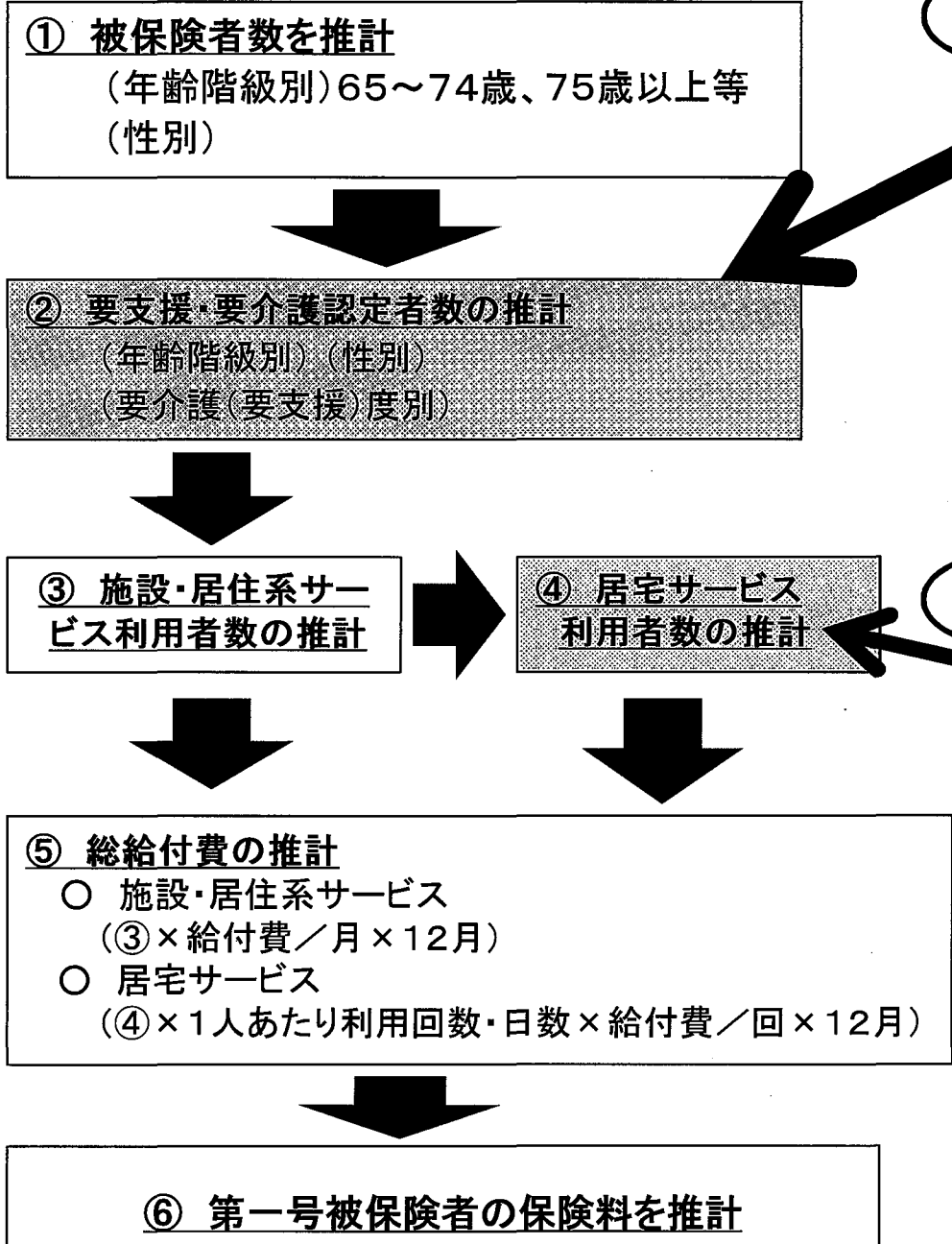


第5期介護給付等対象サービスの見込量の推計手順（ワークシート）の粗いイメージ

- 第5期計画におけるサービス量の見込み等を円滑に行うことを支援する観点から、これまでと同様、市町村（保険者）に介護給付等対象サービスの見込量の推計手順（以下「ワークシート」という。）について本年7月中を目途に配布する方向で現在作業中である。
- 第5期計画におけるワークシートの第1の特徴は、①保険者が自らの地域の現状を踏まえたサービス量を見込めるとともに、②例えば、人口規模が同程度の他保険者の現状を踏まえた場合のサービス提供量等、自らの目標を定める際に参考となるような幾つかのデータをワークシートの中で提供する予定としている。
- 第2の特徴は、各サービス種類ごとの見込量を算出できることに加え、当該地域内で第5期に提供される各年度ごとの介護給付等の地域密着型比率、施設比率、居住系比率等を分類できるようにし、これらの数値を参考に活用し、例えば地域密着型比率を高める等の工夫を行いやすくする予定としている。
- 第3の特徴は、今までは手入力であった給付データや認定データといった介護給付等実績データについて、一定程度レセプトデータ等から取り込むことができる機能を付与し、保険者の事務負担の軽減が図られるような仕組みを予定している。
- なお、当該ワークシートを市町村（保険者）が活用するかどうかは任意である。

(参考1) 日常生活圏域ニーズ調査の実施により、第5期計画において具体的に精度の向上が見込まれる内容について



新

認定者数の補正

【日常生活圏域ニーズ調査の結果反映①】
生活機能が低下(ADL評価0~100点)している要介護認定を受けていない一般高齢者の人数、割合が客観的に把握できるため、これらを現在の要介護認定の実績から見込んだ自然体の認定者見込に上乘せ等を行うことにより、従来以上に過不足の無い精緻な見込み数となる。

新

身体状況別(認知症等)のサービス利用者数の推計

【日常生活圏域ニーズ調査の結果反映②】
身体状況により、利用する介護サービスに差異があることから、介護サービスの利用者数を身体状況の区分別(①認知機能の障害程度(0~6レベル)、②医療ニーズの高低(訪問看護、訪問診療等の利用)、③日常生活自立度(ADL評価0~100点))に推計することにより、従来以上に過不足の無い精緻なサービス量見込みを行うことが可能となる。

※ニーズ調査結果の具体的な活用について(粗いイメージ)

<参考①：認定者数の補正に活用(粗いイメージ)>

ニーズ調査結果の活用(認定者推計に反映)

○ADLが低い一般高齢者(ADL得点40点以下)

区分	ニーズ調査結果	認定者相当
認定外の高齢者	1.1%	30人

(注)モデル事業の結果からADL得点40点以下を
要介護3相当と仮定。

補正(加算)

現行の認定実績から見込んだ自然体の認定者見込数

区分	自然体の見込数
要支援	1,000人
要介護1	900人
要介護2	800人
要介護3	700人
要介護4	600人
要介護5	500人

調整後

調整後の認定者見込数

区分	調整後の見込数
要支援	1,000人
要介護1	900人
要介護2	800人
要介護3	730人
要介護4	600人
要介護5	500人

<参考②：権利擁護(見守り)サービス必要数の推計に活用(粗いイメージ)>

ニーズ調査結果の活用

○認知症リスクが有る者

一人暮らし	配偶者と一緒に暮らし	配偶者以外と一緒に暮らし
30人	10人	10人

必要数

権利擁護(見守り)の対象となりうる高齢者数

50人

<参考③：配食サービス必要数の推計に活用(粗いイメージ)>

ニーズ調査結果の活用

○自分で食事の用意ができない者

一人暮らし	配偶者と一緒に暮らし	配偶者以外と一緒に暮らし
30人	5人	5人

必要数

配食サービスの対象となりうる高齢者数

40人

<参考④：利用者数の推計に活用(粗いイメージ)>

現行の利用実績から見込んだ自然体の利用者(要介護3)

区分	自然体の見込数
要介護3	200人

調整

ニーズ調査結果の活用(身体状況別)

区分	区分	自然体の見込数
認知症有り&医療ニーズ高		90人
認知症有り&医療ニーズ低		60人
認知症無し&医療ニーズ高		40人
認知症無し&医療ニーズ低		10人

身体状況に応じたサービス推計

調整後のサービス量推計

- 認知症デイ ●人
- グループホーム ▲人
- 訪問看護 ■人
- 訪問リハ ▼人
- 通所リハ ★人
- 訪問介護 ○人
- ○人
- ○人

・従前のトレンドによる推計では困難であった
身体状況に応じたサービスの種類と量の設定が可能に。

(注)本資料中の数値は、ニーズ調査結果の活用を分かり易く説明するために便宜上おいた数値である。

(参考2) 第5期計画における介護給付等対象サービスの見込量の推計手順について(現段階の粗いイメージ)

